

○ 集落全体で農地を守る

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	高知県 <small>かみしかほくちよう</small> 香美市香北町 <small>たにあい</small> 谷相			
協定面積 30.5ha	田 (82%)	畑 (18%)	草地	採草放牧地
	水稲	果樹		
交付金額 571万円	個人配分			65%
	共同取組活動 (35%)	役員報酬		3%
		農道・水路管理費		11%
		積立 (共同利用機械購入等)		21%
協定参加者	農業者 62人			

2. 取組に至る経緯

高齢化が進むなかで、地域の農地を保全していく必要性を、多くの農業者が痛感し、平成12年度より集落協定を締結して農用地の保全に取り組んでいる。

また、谷相地区の農地存続に対する危機感がより一層増すなかで、農業生産活動の体制整備活動である「機械・農作業の共同化」等に取り組み、平成20年度には集落営農組織（こうち型集落営農）を立ち上げ、地域の農地を保全してきた。

第三期対策においては「機械・農作業の共同化」等の取り組みに加え、集落営農組織による集団的サポート型の取り決めを行った。

3. 取組の内容

- ・ 集落営農組織へ基幹的農作業を委託し機械を効率的に利用することで生産性を向上させ、経営を安定化できるよう取り組んでいる。
- ・ 水路の草刈り、清掃の実施（5月，7月，9月）
- ・ 農道修繕（地域内の一部に偏ることなく、簡易舗装を計画的に実施）
- ・ 周辺林地の下草刈り、景観作物の作付けの実施
- ・ 営農の継続が困難な農地については集落営農組織が引き受ける取り決めを行った。
- ・ 共同機械を購入して、作業の共同化を実施（水稲の防除、刈り取り、乾燥、調整）
- ・ 都市部住民との交流会を実施して、谷相地区を売り出す活動に取り組んでいる。



水稲作の共同化（防除作業）



都市住民との交流（稲わらリース作り）

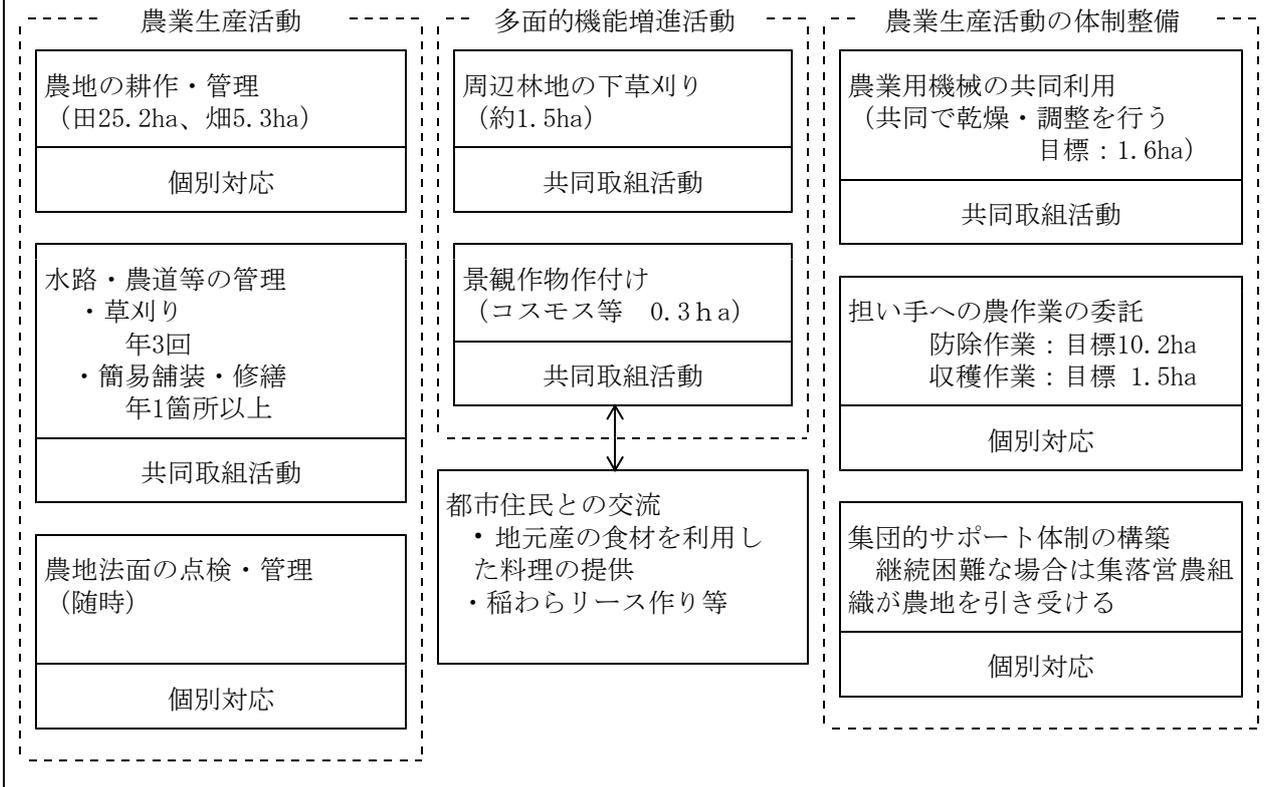
[集落の将来像]

水稻の共同作業を進め、コストの軽減を図るとともに、谷相地区で穫れた米のブランド化を図る。
農作業の受委託を進め、耕作放棄地の増加に歯止めをかけていく。
高齢化等に対応して、農地を集落全体で管理し、耕作放棄地の発生を防止する。

[将来像を実現するための活動目標]

集落営農組合を中心にして、相互に助け合いながら、地域農業が継続できることを目指す。

[活動内容]



4. 取組による変化と今後の課題等

平成20年度に集落営農組織を立ち上げ、「機械・農作業の共同化」を行うようになってから、機械に投資していた経費が削減でき、作業も軽減された。これに伴い、協定参加者の意識が大きく前進してきている。

例えば、都市部との交流会を実施して、地域の農産物を売り出す前向きな活動が行われるなど、活動を通じて地域のまとまりが強化されつつある。

今後は共同機械の整備を進め、作業受託面積を拡大していき、後継者が地域に残って生計を維持できるような地域づくりが課題である。

[平成22年度までの主な成果]

- 都市部住民との交流会「またさいや谷相へ」の実施（地域の散策・地元産の食材を利用した料理の提供・稲わらリースづくり・餅投げ）地区外住民23人参加